

## 初めての海外

統計課・農林経済グループ

戸田 豊 作

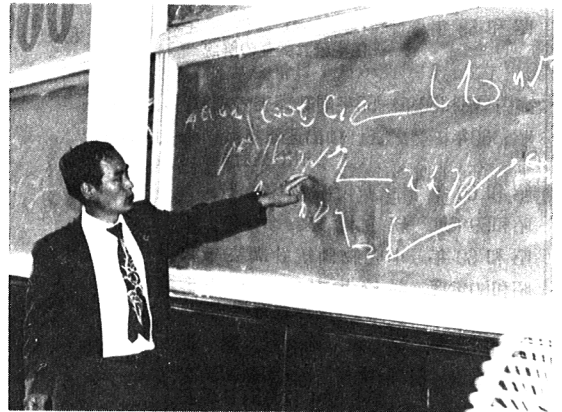
私は、8月20日～25日の5泊6日で、中国速記90周年記念学術交流会に、日本速記友好訪華団員5名のうちの一員として、中国の速記協会から招待を受け、公式訪問の光栄に浴した。

さて、何をどう書こうか迷ったが、出発の20日、予定の時間になっても人がそろわず気をもんでいたというところは、関係ないから省略するね。(そう思いながら、書きちゃった。)北京には午後2時10分に着き、出迎えの人たちと簡単なあいさつをかわした後、そのままホテルに、ホテルで鍵のかけ方がわからず「ガチャガチャ」やっていたら、外人が出てきて教えてくれた。(もしかしたら、自分が外人なのかな。)

夜は盛大な宴会、中国では生ものは食べる習慣がないということで、「サシミ」はおろか「生野菜」も出てこない。キュウリは油いためになって出てくるし、トマトと玉子を混ぜ合わせて煮込んだスープが出てきた。食後のデザートが心配になったが、さすがにスイカとメロンは生のまま出てきて安心した。小さい緑色のものを漬物と思って遠慮なく食べたら、その辛いこと辛いこと、思わず夢の世界へ、涙は出てくるし、鼻水まで出てきて、しばらく何も食べられなかった。

宴会の後、タクシーで街に出かけたが、運転手は女性、見ると大型バスの運転手も女性の姿が目につく、ホテルでもそうだったが美人が多い。しかし、美人の顔はふだん統計課で見慣れているから、別に気にもとめない。思いはただ、翌21日の中国速記90周年記念学術交流会の開会式のこのみ。

21日午前の記念大会の開会式には、中国各地区の代表200名とともに、私たち5名も出席。午後競



技大会を参観してから、大会関係者との座談会。

22日の午前と23日は、観光で「故宮」、「万里の長城」、「明の十三陵」、「頤和園」と強行日程で廻る。この間中国の各地区の出席者は代表大会、競技大会の採点、私たちばかりがいい思いをしていて、悪い気がした。

22日の午後は、まずトップで私が日本速記の実演、そして即読み返し、大きな拍手が心に残った。続いて、同行の2人が交代で講演、その日も無事終わってほっと一息。

24日午前は買い物、午後が閉会式。25日に帰り、東京で速記関係者とのインタビュー、家に着いたのは夜の11時近かった。

今回の旅を終えて、忙しかったけれども、とにかく日本を離れたのが初めてだから、いい思い出になった。片言の中国語での会話、わからないときには筆談、行く先々での親切なもてなし、ただ一つ残念だったのは、武漢のペンフレンドと電話でお話しようと思ったが、できなかったこと。強行日程の中、中国の電話はすぐにつながらずに不便だ。

よき夏の思い出として、いつまでも心に残る。

【新着資料案内】

【新着資料案内】

この資料は、昭和61年7月中に統計課に到着した主なものです。ご利用下さい。

資料室 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
<b>中央省庁関係</b>		<b>改良普及課</b>	
昭和58年 日本 の 住宅 一住宅統計調査の解説一	総務庁	試験研究成果から普及に移せる技術 昭和59年度 日立北部地区人工礁漁場 造成事業調査報告書	水産試験場
地域メッシュ統計地図 (昭和50年~55年国勢調査の増減)	"	昭和61年度 事業計画概要書	農地管理課
昭和60年国勢調査 抽出速報集計結果 (1%抽出集計結果)	"	昭和60年度 人事委員会年報	人事委員会
昭和60年 住民基本台帳人口移動報告年報	"	<b>県内市町村関係</b>	
昭和59年度 統計基準年報	"	日立市の統計1986	日立市
昭和60年 小売物価統計調査年報	"	結城市第2次総合計画(後期基本計画)	結城市
昭和60年度 学校基本調査報告書 (高等教育機関編)	文部省	昭和61年度 統計ひたちおた 第二次総合計画 後期基本計画	常陸太田市
昭和59年 医療施設調査 病院報告 医師・歯科医師・薬剤師調査	厚生省	大宮町総合計画 後期基本計画	友部町
昭和59年12月31日現在	"	昭和60年 大子町統計書	大子町
1985年 農業センサス 第1巻 都道府県別統計書 茨城県	農林水産省	第三次千代田村総合計画	千代田村
昭和60年 牛乳乳製品統計	"	関城町第2次総合計画	関城町
昭和60年 プラスチック製品統計年報	通商産業省	<b>都道府県関係</b>	
昭和60年 生コンクリート統計年報	"	昭和58年度 市町村民所得	福島県統計調査課
昭和60年 窯業・建材統計年報	"	昭和60年 商業統計調査結果報告書	"
昭和60年 ゴム製品統計年報	"	昭和60年 栃木県消費者物価指数年報	栃木県統計課
昭和60年 化学工業統計年報	"	昭和60年版 統計からみた群馬の経済	群馬県統計課
昭和59年 工業統計表 用地・用水編	"	昭和60年度 東京都社会指標の研究開発 一東京都社会指標・モデル指標①一	東京都統計調整課
昭和59年度 民鉄統計年報	運輸省	行政資料閲覧コーナー資料目録 (昭和61年3月31日現在)	富山県情報公開準備室
昭和60年 毎月勤労統計調査年報	労働省	産業連関表 一その仕組みと使い方一	福井県情報統計課
<b>茨城県関係</b>		昭和60年 商業統計調査結果報告 統計資料目録 昭和61年4月30日現在	山梨県統計調査課
昭和61年度版 広報・広聴	広報課	<b>公社・会社・団体等関係</b>	
明日の茨城をつくるために '85知事へのたよりアンケート調査結果から '85~科学万博~	"	地方公共団体 OAプラン・ドウ・シー フォーラム茨城一茨城女性の10年そしてこれから一	栃地方自治情報センター 茨城婦人問題研究会 茨城新聞社
茨城県行政組織等規程集	人事課	常陽銀行創立50周年記念 この10年のあゆみ(昭和50年8月-昭和60年7月)	(株)常陽銀行
昭和59年度 茨城県決算状況調査表	財政課	原研三十年史	日本原子力研究所
昭和59年度 茨城県歳入歳出決算書	"	国際青年年の記録	国際青年年事業推進会議
昭和60年度 常陸川水門操作に伴う水 象水質調査報告書	地域計画課	中小企業情報提供のシステム化調査報告書 一その基本構想一	栃茨城県中小企業振興公社 中小企業情報センター
茨城テクノリネージュ構想 一情報システム編一	地域整備第二課	昭和60年度 機械工業の地域産業連関分析 に関する統計研究報告書(II)	栃機械振興協会経済研究所 栃全国統計協会連合会
昭和60年度 婦人保護事業の概要	婦人相談所	新築西広域市町村圏計画 後期基本計画	茨城県筑西広域市町村圏事務組合
昭和60年度 第11回 社会福祉施設職員 実務研究発表会入選作品集	社会福祉課	資料目録(1986年版) 件名編	(財)特別区協議会資料室
昭和61年度 高齢者対策の概要	高齢福祉課	昭和60年度 電気事業年報	東京電力(株)
昭和61年度 消費者行政の概要	県民生活課	昭和61年度 地方財政統計年報	(財)地方財務協会
昭和59年 茨城県衛生統計年報	医務課	新水戸地方広域市町村圏計画 後期基本計画	水戸地方広域市町村圏協議会
昭和61年度 事務事業概要	商業振興課	日本体育協会七十五年史	(財)日本体育協会
茨城の園芸 一野菜・果樹・花き・特産一	流通園芸課	昭和61年版 都市交通年報	(財)運輸経済研究センター
農林水産試験研究の主要成果	改良普及課		

# 経 済 動 向

## 国内の動き

### ● 景気後退を宣言、円高デフレ深刻に

政府は景気の後退を公式に宣言した。近藤経済企画庁長官が26日の月例経済報告閣僚会議に提出した8月の月例経済報告によると、円高の進展で輸出が停滞、最近はそれに加えて設備投資の落ち込みもはっきりし、製造業を中心に企業の業況判断は悪化をたどっている。個人消費や住宅投資に底堅さはあるものの、報告は景気判断を示す文章から「拡大」の文字を削除、政府自ら景気後退を認めたことになる。これで58年春以来の景気上昇局面は約3年半でピリオ

### ● 消費者心理にかげり

消費者マインドにかげりが出てきた。経済企画庁が15日発表した消費動向調査(6月実施)によると、消費者意識を表わす消費者態度指数は、4～6月期は44.8で、前期比1.8ポイント低下した。指数水準は依然高いが、これで3期連続マイナス。企画庁では、円高による景気停滞が消費者の購買意欲にも影響してきたとみており、内需の頼みの綱とされていた消費にも不安が出てきた。

### ● 35年後に65歳以上が、4人に1人

厚生省人口問題研究所は22日、昨年の国勢調査結果をもとにした「日本の将来人口新推計」を発表した。①人口は27年後の昭和88年に1億3600万人でピークに達し、その後緩やかな減少カーブを描く ②65歳以上の老人が人口全体に占める割合は35年後に今の2倍以上にあたる23.5%に達し、4人に1人が老人になる ③働き盛りの生産年齢人口(15～64歳)は昭和100年(2025年)に今より約100万人少ない8100

万人になる という。平均寿命が伸びたため老年人口の比率を5年前の推計よりかなり高めに修正、高齢社会への足取りがさらに速まっていることを示した。世界最長寿命国のひとつであるわが国は働く人6.7人で老人1人を支えているが、約40年後には2.6人に1人の割になる。(日経 8月23日付)

ドを打った。今後景気対策論議に拍車がかかるのは必至だ。報告によると、輸出数量は7月が前年同月比0.9%減と、5ヵ月連続の減少となった。一方、輸入数量は円高効果により製品類を中心に増加、7月は同21.3%の大幅増となった。企画庁では輸出停滞、輸入増加の動きから見て、4～6月のGNPベースの外需は前期比マイナスと見ている。(日経 8月27日付)

指数は暮らし向き、収入の増え方など10指標につき、1年前と比べてどうか、今後1年間にどうなるかを聞き、総合化した。全項目に対し、回答者全員が「良くなる」と答えれば指数は100になる。消費は心理的要因で左右される面が強いだけに、この指標は消費動向を探るのに重要。

(日経 8月16日付)

## 県内の動き

### ● 企業立地が順調、石油危機以降最高の70社

茨城県企画部が16日まとめた61年上期(1～6月)の企業立地動向によると、石油危機以降最高の70社が進出を決め、円高不況にもかかわらず、企業立地が順調に進んでいることがわかった。

70社の進出は、60年上期の52社を上回り、「全国的に最高レベル」(県地域計画課)。面積も103㉟と、前年同期の

64㉟の1.6倍を記録した。

県地域計画課では、活発な企業立地の要因として、①常磐自動車道など交通網の整備が進んだ ②臨海型企業に鹿島港が再評価された ③科学万博による県のイメージアップ ④東京、大阪での誘致活動をあげている。(日経 8月17日)

### ● 61年産の水稲、豪雨禍で打撃

61年産の水稲は台風10号崩れの豪雨禍によって、3年ぶりに不作型になることが確実となった。

茨城統計情報事務所は26日、今月15日現在の作柄概況を公表した。それによると、作況は、県平均の作況指数で98の「やや不良」の見通しとなった。特に小貝川決壊など水害

に見舞われた県西地区は指数95と、28年の95以来33年ぶりに過去最悪の作柄と並んだ。全国平均は99の平年並み。県農林水産部は同日、すでに竹内知事名で農水大臣に対し、独自に減反の緩和をいち早く要請していることを明らかにした。(いはらき 8月27日付)